

# 民生委員児童委員と主任児童委員が改選

委員の任期は平成22年11月30日までの3年です。(平成19年12月1日付け)  
委員の方々は次のとおりです。(敬称略)

## ●象潟地域

| 氏名     | 担当区域              |
|--------|-------------------|
| 木村 錦一  | 大塩越、下浜山           |
| 伊藤 昭市  | 島、向山              |
| 佐々木宏子  | 中橋町               |
| 佐々木久紀  | 小浜、唐ヶ崎、大町         |
| 五十嵐サヨ  | 横町、妙見町            |
| 佐々木志乃婦 | 浜の町               |
| 佐々木さち子 | 浜畑、臨海             |
| 荘司 嘉明  | 荒古屋               |
| 五十嵐静也  | 駅前                |
| 藤原 榮一  | 冠石、上新町、下新町        |
| 須藤 恭子  | 武道島1区             |
| 佐藤 洋子  | 武道島2区             |
| 木内 厚子  | 下荒屋               |
| 佐藤 正隆  | 上荒屋               |
| 阿部チイ子  | 栄町、大谷地            |
| 後藤由美子  | 濁見町1・2区           |
| 中田 忠男  | 28・29・30・31・33区   |
| 土田いづみ  | 32区、上狐森           |
| 今野 子ヨ  | 松ヶ丘               |
| 松田 芳夫  | 松ヶ丘               |
| 今野 悦博  | 桜ヶ丘               |
| 山田 紀子  | 34区、鳥屋森           |
| 石川 良光  | 鳥の海1区             |
| 佐藤 正敬  | 鳥の海2区             |
| 須田 園子  | 立石2区、はまなす、立石1区の一部 |
| 金子 末子  | 関、立石1区            |
| 伊藤 一男  | 砂山、洗釜、西中ノ沢の一部     |
| 田中久美子  | 大砂川、西中ノ沢の一部       |
| 八島 恵子  | 川袋、西中ノ沢の一部        |
| 森 りえ子  | 大須郷、観音森           |
| 伊藤 良明  | 小砂川2区             |
| 土門登美子  | 小砂川1区             |
| 佐藤ちさ子  | 小滝、大境             |
| 齋藤 繁弥  | 本郷                |
| 齋藤テル子  | 横間                |
| 佐々木 栄  | 水岡、舟岡、目貫谷地、石名坂    |
| 佐藤 誠   | 大森                |
| 須田 喜隆  | 長岡、大飯郷            |
| 新田 協子  | 主任児童委員            |
| 新田 豊晴  | 主任児童委員            |

問合先 福祉事務所総務係 ☎ 32-3034  
℡ 37-2135

## ●仁賀保地域

| 氏名     | 担当区域                |
|--------|---------------------|
| 阿部 寛子  | 芹田                  |
| 伊藤 清   | 三森                  |
| 佐藤ひとみ  | 鈴7～13、鈴14・15の一部     |
| 佐藤 幸雄  | 鈴1～6・16～18、14・15の一部 |
| 佐藤タツ子  | 平沢                  |
| 六平キヨ子  | 平沢、新町社宅             |
| 遠田 哲男  | 平沢、楽しいわが家、にかほハイッ    |
| 齋藤 文男  | 平沢                  |
| 大場ツヨミ  | 室沢4～8・10～11         |
| 三浦 義治  | 室沢9、12～17、快明寮、快明荘   |
| 横山ふき子  | 室沢1～3、18～23         |
| 加賀 鈴子  | 琴浦1～7               |
| 本間 正子  | 琴浦8～16、24～26        |
| 齋藤 修一  | 琴浦17～23             |
| 高橋 勝   | 両前寺、はまなす団地          |
| 大須賀イツ子 | 院内                  |
| 菅生 亮子  | 小国                  |
| 斎藤 荘子  | 馬場、上小国              |
| 佐々木千代子 | 田抓、石田               |
| 國松 鈴子  | 杉山、ひまわり団地           |
| 須田 潔   | 横根1～3、さくら団地         |
| 作佐部純子  | 横根4～7、さくら団地         |
| 大場 聡   | 伊勢居地、水沢             |
| 渡會 泰成  | 中野、橋本、三日市           |
| 佐藤カズ子  | 立居地、百目木、柳、樋ノ口       |
| 須田貴美子  | 寺田、中村、中ノ橋           |
| 佐藤ギン子  | 畑、東畑                |
| 須田 功子  | 桂坂                  |
| 佐藤 辰蔵  | 釜ヶ台、下坂              |
| 三浦 吉松  | 冬節、上坂               |
| 阿部 孝子  | 主任児童委員              |
| 金子扶幾子  | 主任児童委員              |

## ●金浦地域

| 氏名    | 担当区域    |
|-------|---------|
| 佐藤 忠悦 | 1町内     |
| 周防 政子 | 2町内、3町内 |
| 齋藤 優  | 4町内、6町内 |
| 小川 敏勝 | 5町内、6町内 |
| 桐田 和子 | 6町内     |
| 三浦 洋一 | 7町内、8町内 |
| 阿部あや子 | 8町内     |
| 板垣 憲義 | 大竹      |
| 高橋スミ子 | 前川      |
| 柴田 勇子 | 1町内、赤石  |
| 佐藤 正春 | 5町内、飛   |
| 佐々木道子 | 黒川      |
| 小柳千鶴子 | 主任児童委員  |
| 佐藤 律子 | 主任児童委員  |

## 道路特定財源制度の堅持は 市民の豊かな生活を実現します

昨年9月に日沿道岩城IC～仁賀保間が開通し、仁賀保・本荘間の渋滞はたいぶ解消されました。  
開通後の市民アンケートでは、自動車道を利用した人が87%、便利になったと答えた人が96%を占め、自動車道開通による利便性向上への市民の期待が大きいことが分かります。

### 道路特定財源とは？

ガソリンや自動車にかかる税金を道路整備に充てる財源を「道路特定財源」といいます。

### 暫定税率の維持がポイント

政府・与党はガソリンや自動車にかかる税金を道路整備に充てる「道路特定財源」の見直し案に正式合意しました。今回の道路特定財源見直しの最大のポイントは、「暫定税率の維持」です。「暫定」とはいながら、道路整備を急ぐ名目で昭和49年度から30年以上も適用され、事実上、恒常化しているのが実態です。道路特定財源は年間5兆6千億円で、暫定税率による税の増収分は国と地方で計2兆7千億円と膨大で、今後10年間これを維持する内容となっています。

道路整備の地方への配慮として、道路整備臨時交付金の地方への補助率を現在の55%から最大で70%にアップさせることなどが盛り込まれています。

一方では、道路特定財源を本来の税率に戻した上で、何にでも使える一般財源化の動きもあります。が、当市には道路特定財源として、3億4千万円(18年度決算)が国から配分されています。しかし、除雪や道路補修などを含めると、道路関係だけで7億4千万円を支出し、道路特定財源で足りない分を他の財源で補てんしている状況です。

### 日沿道開通後の渋滞状況の変化

国土交通省資料より



かほ幹線」や「中野前川線」は、ますます整備が遅れるほか、除雪や橋の修繕など、道路維持に多大な影響を与えることは確かであり、高速道路の整備や市道の整備には道路特定財源は、不可欠です。

道路ができれば地方が必ずしも活性化するというわけではありませんが、道路は人と暮らしを支え、豊かな地域社会の形成を図る最も基礎的なインフラです。地域の経済・産業の発展、救急医療や災害時における緊急輸送など、安全・安心な都市づくりの推進を図るために、その整備は重要です。「道路整備はもう十分だ」「無駄な道路はつくらない」といった意見は、道路が先行整備された地域であり、当地域には当てはまりません。

地方の発展もあってこそ、活力ある日本の未来につながるものです。そのためには道路特定財源を安定的に確保する必要があります。市民の皆様の深いご理解をお願いします。

道路特定財源の安定的な確保  
地方はいま、人口の減少や少子高齢化社会の進展、そして、厳しい財政状況の中で生き残りをかけ、さまざまな施策に取り組んでいます。観光による交流人口の拡充や企業誘致にしても高速道路のネットワーク化をはじめとする道路整備は地域づくりの根幹を成すものであり、真に必要な道路の計画的な整備が推進されてこそ、地域住民の豊かな生活が実現されるのです。